

令和7年度 学校教育の指針



新・群馬県総合計画（2021年～2040年）

- ・群馬の20年後の目指す姿を描く「ビジョン」
- ・今後、重点的に取り組む具体的な施策を体系化した「基本計画」

群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画） (2024年度～2028年度)

最上位目標：自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う
共生社会へ向けて

一ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成一



自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

- 本指針は、上記計画等に基づき、群馬県教育委員会が目指す令和7年度の学校・園教育の重点項目を示したものです。市町村教育委員会、学校、園において、教育計画づくりや日々の教育実践を行う際に御活用ください。
 - 「[校長の資質向上のための指標](#)」及び「[教員育成指標](#)」を基に作成しています。
 - 「群馬県教育ビジョンの実現に向けた取組」のページを新設し、第4期群馬県教育振興基本計画に基づく群馬県教育委員会各課の取組をまとめました。
 - [赤下線部](#)をクリックすると、関連する資料のページにつながります。
- ※端末やドライブに、このファイルデータを保存して御活用ください。

群馬県教育ビジョンの実現へ向けた取組

(第4期群馬県教育振興基本計画)

～オール県教委で支える「自律した学習者」の育成～

群馬県教育委員会では、教育ビジョンの実現に向けて、「自律した学習者」の育成に必要なエージェンシーを発揮できる環境の構成に、各課で取り組んでいます。

群馬県教育ビジョン 最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、
高め合う共生社会へ向けて
一ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成～

教師が「～させる」授業から、 児童生徒が「～する」授業へ

- 子供が主語となる学び
- 探究的な学びの充実

自律した学びの土台となる 人権教育・道徳教育

自発的な健やかな 体づくりの充実

特別な支援を必要とする 子供への支援の充実

子供の成長を支える 生徒指導

多様な学びへの支援

- 青少年自立・再学習支援
- 「つなぐん」「つなサポ」の取組

地域における多様な学びの促進

- 地域とともにある学校・学校とともにある地域づくり

家庭教育支援の充実

これからの時代の学び を支える施設・設備

教育DXの推進

- 教育DXの推進と教職員の働き方向上
- 学びの充実と働き方改革に向けたICT活用環境整備を支援

これからの 教職員の働き方

- 教職員のメンタルヘルスケア

教職員の学び方向上 に向けた研修デザイン

幼小中高特のつながり

- 架け橋期の教育
- 県立高校の魅力化・特色化(スクールミッション・スクールポリシー)
- 職業教育の推進

子供の非認知能力育成をサポート

- 非認知能力の育成に視点を当てた学校教育の改善
- 高校における生徒エージェンシー(Student Agency High School)

自分とみんなの
ウェルビーイング

子供も、教師も、保護者・地域も、
エージェンシーを発揮できる
環境の構成

自律した学習者

エージェンシーを発揮

心理的安全性のあるインクルーシブな環境づくり

学校・園経営 ～子供も大人もエージェンシーを発揮する教育活動の充実～

◆学校・園経営方針等の策定

- 国や県市町村教育委員会の教育施策等に基づいた学校・園経営方針等の作成
[第4期教育振興基本計画（国）](#)
[群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）](#)
[全国学力・学習状況調査に関する資料](#)
- 学校・園課題の解決に向けた具体的な計画や手立ての教職員への提示
- インクルーシブ教育の理念についての教職員間の共有

◆組織運営の整備

- 学校・園教育目標の具現化、非認知能力育成に向けた教職員への理解醸成
[非認知能力育成に向けた指定校による実践研究](#)
- 幼小中高特等の学校間連携
[発達に基づいた架け橋期のカリキュラムの構想](#)
- チームとしての学校の構築へ向けた、各教職員・関係機関の役割や相互の協力体制の明確化
- 適切な評価項目に基づく学校評価の実施
[群馬県「学校評価システム」の充実に向けて](#)

◆家庭や地域社会等との連携・協働

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 地域とともにある学校づくりに向けた、学校と家庭・地域の目標やビジョンの共有
[地域学校協働活動ガイドブック](#)
- 子供・家庭の意向を最大限尊重した合意形成及び合理的配慮の提供
- 部活動の地域連携及び地域移行の推進
[学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた推進計画](#)

◆教育課程の編成・実施・評価・改善

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための、カリキュラム・マネジメントの視点を持った教育課程の編成・実施
[各教科等授業改善プロジェクト](#)
[総合的な学習の時間で児童生徒も教師も楽しく探究](#)
教科横断的な学習の推進（[STEAM教育](#)等）
- 指導体制に見合った適切な授業時数の設定
[令和5年9月8日付け文部科学省通知](#)
- 学校・園評価や学力調査等の結果に基づく教育課程の評価・改善

◆子供に寄り添う指導体制の構築

- 生徒指導と教育相談が一体となった支援体制の整備
- 人権教育・道徳教育の推進体制の充実
- 個々の子供の教育的ニーズへの対応
[「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」の活用Q&A](#)
[ぐんまの外国につながる子供たちの学び応援サイト ハーモニー](#)
- 特定分野に特異な才能のある子供への指導・支援
[有識者会議審議のまとめ](#)

◆安全・危機管理

- 危機的な状況が起こらないよう対処する行動（リスクマネジメント）と、危機的な状況が発生した場合・発生した後の行動（クライシスマネジメント）に係るマニュアル等の作成・活用・見直し
[学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン](#)
- 日常的な点検・管理、適切な利用、感染症対策の徹底と継続
- 交通安全・不審者対応等、地域や関係機関と連携した取組の推進

◆働きやすい職場づくり

- 長時間勤務の是正に向けた、勤務時間の適正な記録の徹底と、廃止・縮小・ICT化の視点での業務改善の推進
[多忙化解消協議会からの「提言R7」](#)
- 教職員の業務の進捗状況や健康状態等を把握し、心理的安全性を確保するためのメンタルヘルスケアの実施
- 適正な学校部活動の運営に関する方針等に基づいた活動時間や休業日の設定と、部活動数の適正化

◆教職員の資質・能力の向上

- 教職員のキャリアステージに応じた資質向上に向け、研修履歴等を活用した自律的・継続的な学びへの支援
[学び続けるぐんまの教員サポートマニュアル](#)
[研修講座・学習コンテンツ一覧](#)
- 日常的なOJTや協働的な研修の充実に向けた効果的・組織的な研修体制の推進
- 教職員の職能成長や組織の活性化、適材適所の登用を目的とした人事評価制度の活用

◆服務規律の確保

- 非違行為の根絶に向けた教職員への指導の徹底
[服務ガイドライン](#)
[体罰に関するガイドライン](#)
- 信頼される学校・園づくりに向けた教職員の人権意識の高揚を図るための研修の充実
[学校におけるハラスメントの防止に関する指針](#)
- 教職員の勤務状況等の把握に向けた人事評価面談等の実施
[勤務時間の適正な管理並びに総労働時間短縮のための指針](#)

幼児期の教育の充実

幼児期の教育で大切にしたいこと

環境を通して行う教育

- ・ 幼児期にふさわしい生活の展開
- ・ 遊びを通しての総合的な指導
- ・ 一人一人の発達の特性に応じた指導



エージェンシーを発揮して、自ら発達に必要なものを獲得しようとする姿(イメージ図)

達成感や充実感、自信をもつ

できたよ!
またやって
みたい。

試行錯誤する

もっと
こうしたいな。

見通しをもつ

こうして
みよう!

思いや願いをもつ

やって
みたい!

興味や関心をもって
環境に関わる

なんだろう?
おもしろそう!

幼児は、興味や関心をもって環境に関わる中で、「やってみたい!」等の思いや願いをもちます。友達や教師が行っている様子を見て、「あのようになればよいのか」と見通しをもった幼児は、試行錯誤を繰り返すうちに、友達や教師の動きをモデルにしてまねたり、考えたりしながら、環境へのふさわしい関わり方に気づき、身に付けていきます。こうした環境との関わりを通して、幼児は自ら発達に必要なものを獲得し、自らの世界を広げていきます。

このような姿が現れるよう、次のような援助を行いましょう。



詳細はこちら

〈教師の援助〉

環境の構成の工夫

興味・関心が高まり、思いや願いが生まれるような環境を構成する。

一人一人の発達に応じた援助

見守る、一緒に悩む、助言する、手伝う等、必要な援助を判断して行う。

思いや願いに寄り添う姿勢

思いや願いを受け止め、共感したり、一緒に考えたりする。

自己肯定感を高められる関わり方

よさや可能性を認める言葉かけを行ったり、安心感を与える表情やまなざしで接したりする。

幼児教育施設と小学校の取組



幼保こ小の円滑な連携・接続に向けて



～幼児期の教育における学びや育ちを

小学校以降につなぐために～

〈1〉基盤づくり

- 接続窓口、幼保こ小接続担当者の明確化
- 管理職及び担任同士の情報交換等による関係づくり
- 幼児と小学校児童との交流活動の実施

〈2〉相互理解

- 互いの保育・授業参観
- 幼児教育施設と小学校の教職員が互いの保育・教育の内容や方法について理解し合う合同研修会の実施

〈3〉カリキュラムの開発・実施

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（いわゆる「10の姿」）」を念頭に置いた（踏まえた）教育課程の編成・実施

※ 直接的に「10の姿」を反映するものではないことに留意しましょう。

- 地域の幼児教育施設と小学校の「期待する子供像」の検討と共有
- 架け橋期のカリキュラム（育みたい資質・能力や発達の様相、ねらい、環境の構成等を可視化したもの）の作成
- 架け橋期のカリキュラムによる保育・授業実践

〈4〉カリキュラムの評価・改善

- 次年度に向けた架け橋期のカリキュラムの評価・改善

就学前のぐんまの子どもはぐくみプラン
文部科学省：幼保小の架け橋プログラム
文部科学省：遊びを通した学び

豊かな人間性の育成

～子供の成長を支える生徒指導～

生徒指導

児童生徒がエージェンシーを発揮しながら自己指導能力を獲得できるよう、生徒指導「4つの視点」を常に意識して、生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・対応に組織的に取り組むとともに、授業や学級経営等、日々の教育活動において、児童生徒理解に基づいた一人一人の自発的・主体的な成長を支える働きかけに、積極的に取り組みましょう。

自己指導能力の獲得を支える生徒指導「4つの視点」

自己指導能力=自ら設定した目標の達成のために自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自ら決断・実行する力

自己存在感の感受

共感的な人間関係の育成

自己決定の場の提供

安全・安心な風土の醸成

【重層的支援構造の各層における支援の重点】

特別な援助が必要な児童生徒に対する組織的・継続的な支援

困難課題対応の生徒指導

- ☐ コーディネーター役の教員を位置付けた教育相談の推進
- ☐ SC・SSW・SL等の専門家や関係機関との積極的な連携による学校主体の組織的な困難課題対応

※スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールロイヤー（SL）

気になる児童生徒の早期発見・対応

課題予防的生徒指導（課題早期発見・対応）

- ☐ 日常の観察やチャンス相談、生活アンケート等によるいじめや児童虐待、ヤングケアラー等の早期発見
- ☐ 法に基づくいじめの積極的な認知と、学校いじめ対策組織を中心とした組織的な早期支援の実施
- ☐ 小さなSOSを受け止める体制整備

全ての児童生徒に対する課題の未然防止に向けた教育・取組

課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）

- ☐ SOSの出し方に関する教育の意図的・計画的な実施（年1回以上）
- ☐ 学級活動や児童会・生徒会活動における、児童生徒による主体的ないじめ防止活動の推進
- ☐ SC・SSW・SL等の専門家を講師とした、各校の実態に応じた生徒指導に関する校内研修の実施

具体的な取組の
ポイントを示した

[「児童生徒理解に基づく成長を支える生徒指導の充実」](#)

もご活用ください。

全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ

発達支持的生徒指導

- ☐ ありのままの自分を肯定的に捉えたり、他者の役に立っていると感じられたりする場面の設定
- ☐ 困ったときに弱音を吐いたり、頼ったり、相談したりできる児童生徒と教職員との信頼関係づくり
- ☐ 集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるという相互作用を生かした学級経営の充実
- ☐ 児童生徒にとって安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業」の工夫



関連資料



豊かな人間性の育成

～エージェンシーを発揮する土台となる人権教育・道徳教育～

人権教育

< 常時指導の充実 >

学校における人権教育では、全教育活動を通じて、構造的指導に留意しましょう。常時指導は人権教育の基盤となります。

直接的指導

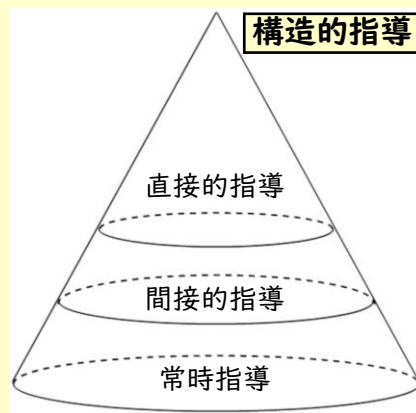
- 人権の意義や重要性及び人権重要課題についての理解

間接的指導

- 人権を尊重した生き方をするために必要な能力・態度（コミュニケーション能力、科学的・合理的なものの見方等）の育成

常時指導

- 全教育活動において、一人一人のよさが認められ、共に生きているという実感が持てるようにするための指導
- 児童生徒の望ましい人間関係の形成や温かい学級の雰囲気づくり
- 児童生徒一人一人の存在や思いを大切にするための教室環境や言語環境の整備



[「群馬県人権教育充実指針」参照](#)



[人権感覚チェックリスト](#)

< 人権重要課題の解決に向けた取組の推進 >

人権重要課題と学習指導要領の内容等との関連を図った指導をしましょう。 ※「[人権教育推進資料](#)」参照

子どもたち

- 子どもの人権（こども基本法、子どもの権利条約等）についての理解を深めるための学習
- いじめや児童虐待、ヤングケアラー等、子どもの人権に関する問題についての早期発見・早期対応

同和問題

- 社会科を中心とした教科等における同和問題に関する正しい理解と認識を深める学習を通じた差別意識の解消
- ※リーフレット「[『部落差別解消の推進に関する法律』の趣旨を踏まえた人権教育の充実](#)」（H31.2）

インターネットによる人権侵害

- インターネット等による差別事象やインターネットの適切な利用を含む情報モラルに関する教育の推進
- ※ネットリテラシー向上教材「[インターネットの光と影を知ろう！](#)」（動画教材・体験型Web教材）

性的少数者の人たち

- 教職員への適切な理解の促進、教職員の人権感覚の醸成及び相談体制の整備
 - 性的少数者とされる児童生徒への配慮と他の児童生徒への配慮との均衡を取りながらの支援
- ※文部科学省「[性的マイノリティに関する施策](#)」

道徳教育

< 全教育活動を通じた特色ある道徳教育の推進 >

育てたい児童生徒像を踏まえた重点目標、重点内容項目を設定し、計画的・発展的に取り組みましょう。

道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し

- 各教育活動等との関連を明確にした諸計画の作成
- 全教職員の共通理解に基づく、組織的で一貫した道徳教育の推進

「特別の教科 道徳」の充実

- 道徳的な課題を自分との関わりで捉え、他者との交流の中で納得解を得られる授業づくり ※「[道徳教育パンフレット](#)」参照
- 道徳教育の要としての補充・深化・統合の役割を確認

健やかな体の育成

健やかな体の育成には、心身の健康の保持増進に向けた取組を充実させるとともに、運動を推進して体力を養うことや、食育を推進して望ましい食習慣を形成することが必要です。各担当者は、家庭や地域との連携を図りながら、教育活動全体を通じて、児童生徒が、**自分で考えて、自分で決めて、自分から取り組める**ようにしましょう。

また、様々な自然災害の発生や、情報化の進展に伴う児童生徒の環境の変化等を踏まえ、児童生徒の安全・安心に対する懸念が広がっていることから、安全に関する指導の充実にも努めましょう。

心身の健康の保持増進

- 児童生徒の適正な健康管理
 - ・適正な健康診断の実施と事後措置の徹底
 - ・アレルギー疾患への対応

[学校における食物アレルギー対応マニュアル《令和5年度改訂版》](#)
- メンタルヘルスの不調等の早期発見や、自己管理能力の育成
 - ・日頃からの健康観察の強化と結果の活用
 - ・家庭や関係機関等との連携強化
- 性に関する指導や、薬物乱用防止教育、がん教育等の充実
 - ・外部講師の活用
 - [がん教育の手引き](#)
- 望ましい生活習慣の定着を図るための取組の充実

[小・中学校における生活習慣病予防対策基本方針](#)



運動の推進 [取組実践例](#)



- 「体力向上プラン」に基づく取組の充実
 - ・体育的行事の工夫等による、運動できる「時間」「空間」「仲間」の確保
 - ・運動時間や運動強度の工夫による、身体活動量（身体活動の強さ×行った時間の合計）の増加
- 体育授業の充実
 - ・思考を働かせながら活動する等、身体活動量の確保
 - ・休み時間や家庭でもやってみたくなる学習内容の工夫
 - ・保健領域、保健分野と関連を図った内容の工夫

食育の推進

- 食に関する指導の全体計画に基づいた、組織的・計画的な取組の充実
- 給食の時間や各教科等における食に関する指導の充実
- 食に関する健康上の諸課題に対する栄養教諭等による個別的な相談指導の充実

[「食に関する指導の手引ー第二次改訂版ー」](#)

安全に関する指導の充実

- 自然災害、事故、事件等から主体的に身を守るための安全教育（災害安全・交通安全・生活安全）の充実（体育、保健体育、総合的な学習の時間、特別活動 等）

[県学校安全の手引き](#)

各教科等で身に付けたい資質・能力の育成

◎児童生徒がエージェンシーを発揮する学びの中で資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進しましょう。

[はばたく群馬の指導プランⅡ](#)

[はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用
Version](#)

各教科等の目標に迫る 「主体的・対話的で深い学び」

[エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ
各教科等授業改善プロジェクト](#)

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

児童生徒の学び方改善

- 追究（求）すべき課題を自分たちで設定し、解決への見通しをもつ
- 課題解決に向けて、失敗を恐れずに繰り返し挑戦する
- 自らの学びを自覚できる振り返りをする



教材研究・授業デザイン

- 教科等の深い学びに向かい、学びたいという思いを引き出す教材を研究する
- 児童生徒の日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 児童生徒の意識の流れに沿った問題解決的な学習、探究的な学習を重視する
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面を効果的に取り入れる

教師の役割の見直し

- 児童生徒の姿を適切に見取り、学びの価値の意識付けをする
- 学習のゴールを児童生徒と共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自ら選択できる環境の構成をする



【個別最適な学び】

指導の個別化

学習の個性化

エージェンシーを発揮

【協働的な学び】

[学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料（文部科学省）](#)

[ICTを活用した家庭学習のススメ
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例](#)

日常的なICT活用

[問題解決的な学習を充実させるICT機能](#)

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

◎エージェンシーを発揮した子供の姿は、授業の中でたくさん現れます。

ここでは、各教科等において、特に現れてほしい子供の姿を重点的に示しています。

令和5～7年度

各教科等授業改善プロジェクト



各教科等で特に現れてほしい子供の姿

幼児教育

○自ら周囲の環境に働き掛けて、遊びを生み出している

国語

○追究の過程において、言葉への気付きを手掛かりに、課題解決に向けた考えを繰り返し問い直している

社会

○社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている

算数・数学

○日常生活や社会、数学の事象に関わる数理的な問いを見いだしている
○数学的な表現を用いて交流し、自他の考えを広げ、深めている

理科

○日常生活や社会の自然事象から問題を見だし、課題を設定している
○多面的な視点からより妥当な考えをつくり出している

生活

○なりたい自分を目指して、学習対象に関わり続けている

音楽

○曲や演奏のよさや美しさを見付け、確かめながら聴き返したり、思いや意図を持って音楽表現の工夫を試したりしている

各教科等の授業づくりのポイント

- ・ 幼児の行動や心の動きを温かく受け止め、幼児が安心して自己発揮する環境づくりを行う。
- ・ 一緒に遊びに参加して、モデルとして環境との関わりを示したり、幼児同士が思いや願いを共有できるよう援助したりする。

- ・ 主たる指導事項に焦点化して単元を構想し、課題解決までのイメージを児童生徒と共有する。
- ・ 児童生徒が言葉に立ち返り再考したくなる「しかけ」を用い「かわり」を行う。
→詳しくは、令和6年度授業改善研修会資料参照

- ・ 課題に対する予想を基に、単元の学習計画を立てる活動を設定する。
- ・ 考えを深めるための効果的な資料を提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。
→詳しくは、令和6年度授業改善研修会資料参照

- ・ 解決方法、理由、性質、関係等への着目を促す環境の構成や問いかけを行う。
- ・ 他の考えを理解する活動と、比較・検討、関連付けを図る活動を意図的に設定する。

- ・ 対象の自然事象と関わる中で児童生徒の素朴概念が現れる、ストーリーのある単元を構想する。
- ・ 理科の見方・考え方を働かせた多様な考えが生じる学習形態や表現方法等を取り入れた活動を展開する。

- ・ 児童の思いや願いに寄り添い、支え、見守り、小さな成長を認める姿勢を大切にする。
- ・ 振り返りの際に、単元の課題の解決状況と次に取り組みたいことを視点として示す。

- ・ 音や音楽を捉える視点となる音楽を形づくっている要素を焦点化して、学習内容のつながりを意識した題材を構想する。
- ・ 児童生徒の多様な気付きや感じ方を共有・共感しながら、個々の考え方や感じ方が広がる言語活動と音楽活動を設定する。

エージェンシーを発揮した子供の姿と授業づくりのポイント

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

体育・保健体育

- 自己や仲間の課題を見付け、自他の気付きや他者の意見を生かして自ら考え判断し、課題解決の学習に取り組んでいる

図画工作・美術

- 自分が表したいことを考え、材料や表し方を決めて、自分なりに工夫して表したり、作品や行為に込められた思いや願いを読み取り、自らの表現に生かしたりしている

技術分野

- 社会からの要求、安全性、経済性、環境負荷等の視点から、課題の解決策を構想したり改善・修正したりしている

家庭・家庭分野

- 生活の中から問題を見いだして題材の課題を設定し、解決に向けた学習計画を立てている

外国語活動・外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて既習表現を駆使しながら自分の思いや考えを伝え合っている

特別の教科 道徳

- 道徳的価値を自分との関わりで捉え、広い視野から多面的・多角的に考え、よりよい生き方への思いや願いを深めている

特別活動（学級活動）

- 問題や課題を自分事として捉え、集団や自己をよりよくするための解決方法を考え、実践している

総合的な学習の時間

- 最適解や納得解に向けて、多様な他者との関わりから自分の考えを確かにしている

各教科等の授業づくりのポイント

- ・身体活動量を確保した上で、ICT機器等を活用し、仲間と関わりながら、自他の課題を見付けたり、課題を解決したりする活動を設定する。
- ・気付きや意見を引き出す発問をし、児童生徒が仲間と意見交流して課題の解決方法を考えたり、選択したりする場面を設定する。

- ・児童生徒の実態に合わせて、材料や表し方を繰り返し試すことができる環境を設定する。
- ・表現と鑑賞が一体化する場・空間・機会・時間を設定する。

- ・三年間を見通して、選択、管理・運用することで解決できる問題から、改良、応用しなければ解決できない問題へと段階的に設定する。
- ・他者との意見交流や試行・試作等を基に、複数の視点から解決策を検討する場を設定する。

- ・題材に応じて、問題を見いだす活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する。
- ・題材の学習内容に合わせて、家庭・家庭分野の学習の過程を柔軟に変更する。
[→詳しくは、令和6年度授業改善研修会資料参照](#)

- ・児童生徒にとって自分事になるような目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。
- ・単元末の具体的な姿に基づいて言語活動に取り組む様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気付きを引き出す発問をする。

- ・指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。
- ・多様な感じ方や考え方の交流を通して得られた納得解を基に、自己を見つめ直す振り返りを行う。

- ・多様な意見や立場等を認め合い、折り合いを付けて「合意形成」を図る場を設定する。
- ・これまでの取組の振り返りや話し合いを生かして、実現可能で自分に合った解決方法を一人一人が「意思決定」する場を設定する。

- ・探究課題との出会いの際に、現在の状況と理想の姿を時間軸・空間軸・立場軸で比較する活動を設定する。
- ・目的や相手を確認したり、考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究する姿勢を大切にする。

本指針の内容に関連する資料等

以下の[リンク](#)や二次元コードから、関連する資料等を閲覧・ダウンロードできます。

◎[群馬県教育ビジョン](#)
(第4期群馬県教育振興基本計画)



◎[エージェンシーを発揮する](#)
[「自律した学習者」へ](#)



教育課程



- ☐ 文部科学省発行資料
- ☐ 県教育委員会発行資料
 - ・ 生徒指導関係
 - ・ 教科指導関係
 - ・ 幼児教育関係
 - ・ 人権・キャリア教育関係
 - ・ 外国人児童生徒等教育関係

業務改善



- ☐ 文部科学省発行資料
- ☐ 県教育委員会発行資料
 - ・ 多忙化解消関係
 - ・ 教職員人事評価関係
 - ・ メンタルヘルス
 - ・ 部活動関係

研 修



- ☐ 群馬県総合教育センター
 - ・ 研修講座 ・ 相談窓口
 - ・ 学びの支援 等
- ☐ NITS独立行政法人
教職員支援機構
- ☐ 文部科学省/mextchannel

特別支援教育



- ☐ 特別支援学級関係
- ☐ 通級指導関係
- ☐ 交流及び共同学習関係
- ☐ 個別の教育支援計画、
指導計画関係

健康・体育



- ☐ 体育・保健体育関係
- ☐ 保健指導・健康教育関係
- ☐ 食育関係

総合教育センター



各教育事務所

中 部 / 西 部
吾 妻 / 利 根
東 部